

1 ねらい

春を表す言葉や文章に興味をもち、季節感を味わうことができる。【関】

2 学習の流れ

時間	主な学習活動	教師の支援
3分	1 「春」を感じた経験や好きなところを発表し合う。	・「春」という感覚をもたらすものを具体的に出し合わせる。
2分	2 本時のめあてを確かめる。	・この単元の意味を知らせ、興味をもたせる。
「春」について書かれた文章や春の言葉から、「春」のイメージを深めよう		
10分	3 「春はあけぼの」を音読し、清少納言の「春」への見方や感じ方、表現された季節感を味わう。	・出典について、簡単に解説する。 ・音読することを通して、独特のリズムや語調などを感覚的に味わわせる。 ・作者の感じ方と自分の感じ方の共通点や相違点について考えさせ、人それぞれに多様な感じ方があることを確かめる。
10分	4 春の言葉や写真から、春の様子を想像する。	・必要に応じて言葉の解説をする。
15分	5 自分が春を感じた場所や時を思い出し、見たものや感じたことを表現する。	・文章の形式にこだわらず、自由に表現させる。 ・例文を紹介し、表現の一助にする。 ・グループで読み合い、感想を交流し合うようにする。
3分	6 学習のまとめをする。	
春の様子を表す言葉や文章はたくさんあり、感じ方も様々である。季節の移り変わりを感じ、楽しむ感覚を大事にしたい。		
2分	7 ふり返りを書く。	

3 評価

春を表す言葉に興味をもち、文章や言葉から春のイメージを深めようとしている。

(ノート・文章・交流)